清月記グループ

SEIGETSUKI'S GROUP VALUE SERIES 6

ライフスタイル提案企業《清月記グループ》

新しいスタイルを生み出す「ぶつだんギャラリー 清月記」

多様化する時代の流れとともに、仏壇・仏具も様変わりしている。先祖への大切な思いはいつまでも尊いものでありたい。清月記が提案するこれからの供養スタイルについて聞いてみた。

より気軽に、より身近に 既存イメージを覆す雰囲気

仙台市中心部、東二番町通りに面して建つ「ぶつだんギャラリー中央 清月記」。一般的に仏壇店といえば重厚な雰囲気が多いのに対し、同店は一見仏壇・仏具を取り扱っているとは思えないスタイリッシュな店構えが特徴だ。

「時折、飲食店やホテルの入口と間違えて入ってくるお客様もいるんですよ」と、店長の内藤徳章さんは話す。明るい店内、カラフルでかわいらしい小物、若い女性が好みそうなキャンドルやお香など、まるでインテリア雑貨店のよう。実はこの「らしくない」店作りこそが、新しいスタイルを次々と生み出す清月記イズムの表れといえるだろう。仏壇を探す・買う行為は非日常的行動、だから通常は仏壇店はふらりと立ち寄るような場所ではない。しかしそれが気軽に入れる雰囲気の店なら、いざ困ったときに何でも相談できる安心感がある。「古くから伝わる形式や手順といった知識不足など、仏事は何かと不安が付きまとうもの。『困ったことがあったら清月記が何でも教えてくれる』と、相談窓口の一つとしてご利用いただきたいですね」。

多様化するスタイル 大切なのは先祖を思う心

日々仏壇に手を合わせることが、煩わしくなってはいけない。毎日の暮らしの中で、先祖を思うことがごく自然で当たり前の行動となるよう、守るべき仏教のスタイルを崩さず、それでいて多様化する今の時代に合った商品の提案を心がけているという内藤さん。「なによりも先祖を思う気持ちが一番大切です。宗派や地域性なども考慮しつつ、一人一人の供養スタイルに重きを置いた仏壇選びをご提案しています」。マンションが多い都市部では、コンパクトサイズや、洋室に置いても違和感のないモダンな家具調仏壇が好まれる傾向にあるとか。「当店では可能な限りご自宅に伺い、お客様の住宅事情や生活環境、インテリアなどを拝見します。例えば、正座がつらいシニア世代がいれば椅子付きのタイプ、床暖房の家なら直置きしなくて済むよう足付きのタイプなど、仏具のプロだからこそ気付く点も多い。お客様のご要望にお応えしつつ、さらにご満足いただけるよう幅広い視点で選び方のアドバイスを行っています」。「ぶつだんギャラリー清月記」のスタンスは、仏壇を販売するというより、先祖を思う心のサポートを行っているという方が近いかもしれない。

日本の伝統を守りつつ これからのスタイルを提案

職人技が光る伝統的な仏壇に、時流に合ったモダンな仏壇、そして大切な人のしのび方のさまざまなスタイルを提案し続ける「ぶつだんギャラリー清月記」。今春リニューアルオープン予定の「ぶつだんギャラリー泉 清月記」では仏壇に加え墓石も取り扱い、より幅広く柔軟なサービスを提供していくという。今すぐに必要でなくとも、いつかのために知っておきたい仏事や仏具のこと、自分に合うものや自分らしいものを常々意識して見つけておきたい。「まずは最新トレンドの仏壇もそろう初売セールに足を運んでいただけたら。インテリア家具を探す感覚で、気軽にご覧いただきたいですね」。

～取材後記～

新しい年だからこそ、先祖を敬う気持ちを新たにしたい。仏壇だけでなく上品な線香や仏具選びなど、インテリアショップ感覚で訪れた。今どきの仏壇のデザイン性に驚きつつも、先祖を身近に感じ、仏壇に手を合わせることに喜びを覚える暮らしも素敵だと思った。

（オーレ編集室R・O）